



一般社団法人

山梨県介護支援専門員協会

《山梨県版》
介護離職ゼロに向けた取り組み
～ケアラーコンシェルジュサービスについて～

なす よしまさ

山梨県介護支援専門員協会 会長 那須 美幹

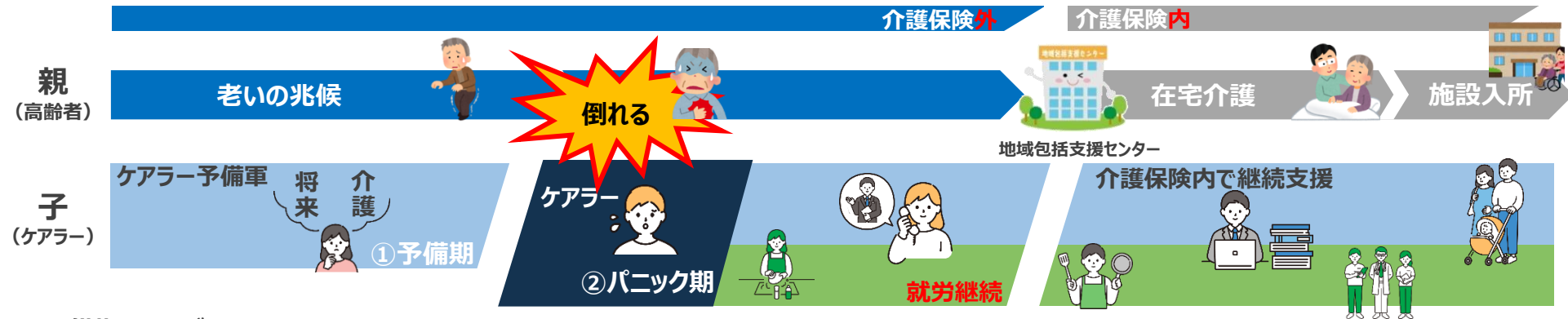
本日本話しする内容

1. 山梨版・ケアラーコンシェルジュサービスについて
2. ワークサポートケアマネジャーとは
3. 介護現場の現状

1. 山梨版・ケアラーコンシェルジュサービスについて

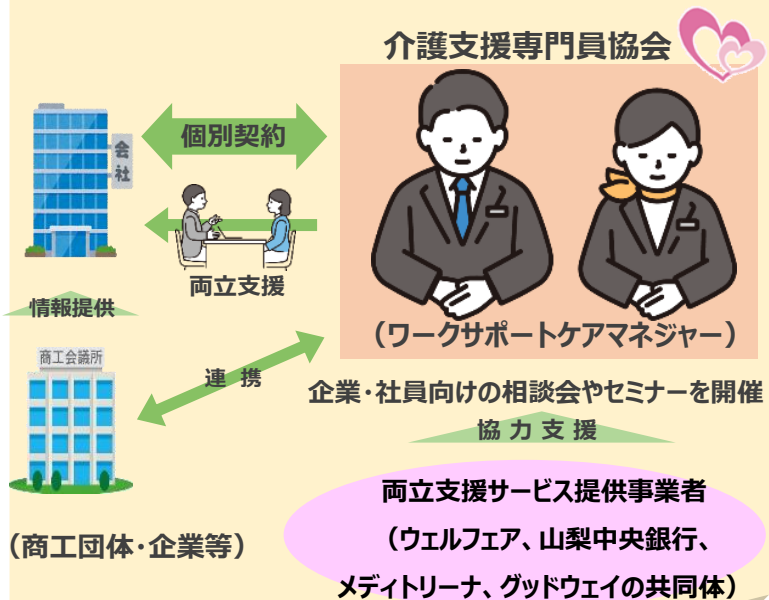
山梨県ケアラーコンシェルジュサービス（令和8年9月1日から運用開始）

介護保険制度に繋がる前段階から、介護保険・ケアプラン作成の専門家であるワークサポートケアマネジャーが秘書役・司令塔としてケアラーに寄り添い、それぞれの情報を整理し、必要なサービスを手配する“伴走支援体制”を構築



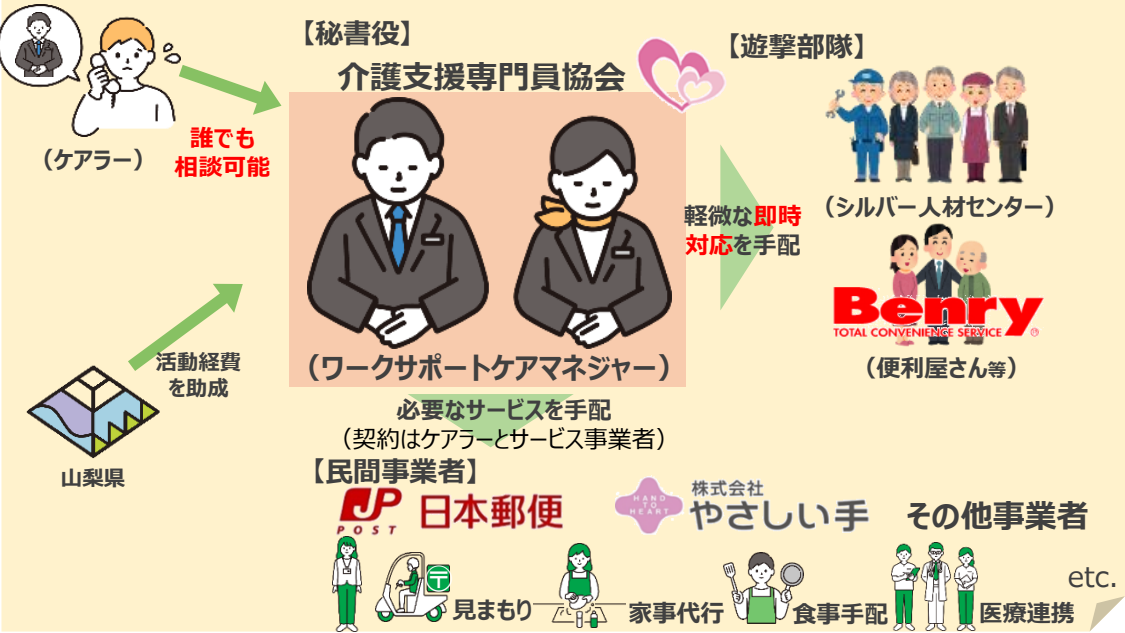
① 予備期フェーズ

ビジネスベースで社員向け相談会、サポートプランニング等を提供



② パニック期フェーズ

24時間365日就労の有無等に関わらず、**県民誰もがワークサポートケアマネジャーに相談できる体制を構築**。ケアラーに寄り添いながら情報を整理し、必要なサービスを手配



山梨県ケアラーコンシェルジュサービス（令和8年9月1日から運用開始）

予備期フェーズ

介護保険利用に際して個別相談から介護保険、ケアプラン作成の専門家であるワークサポートケアマネジャーが秘書役、司令塔としてケアラーに寄り添い、その

親
（高齢者）

子
（ケアラー）

① 予備期フェーズ

ビジネスベースで



情報提供



（商工団体・企業等）

ビジネスベースで社員向け相談会、サポートプランニング等を提供



会社

個別契約



両立支援

情報提供



商工会議所

（商工団体・企業等）

介護支援専門員協会



（ワークサポートケアマネジャー）

協力支援

両立支援サービス提供事業者

（ウェルフェア、山梨中央銀行、

メディトリーナ、グッドウェイの共同体）



施設入所



ケアマネジャーに
サービスを手配



シルバー人材センター）



（便利屋さん等）

その他事業者



etc.

医療連携

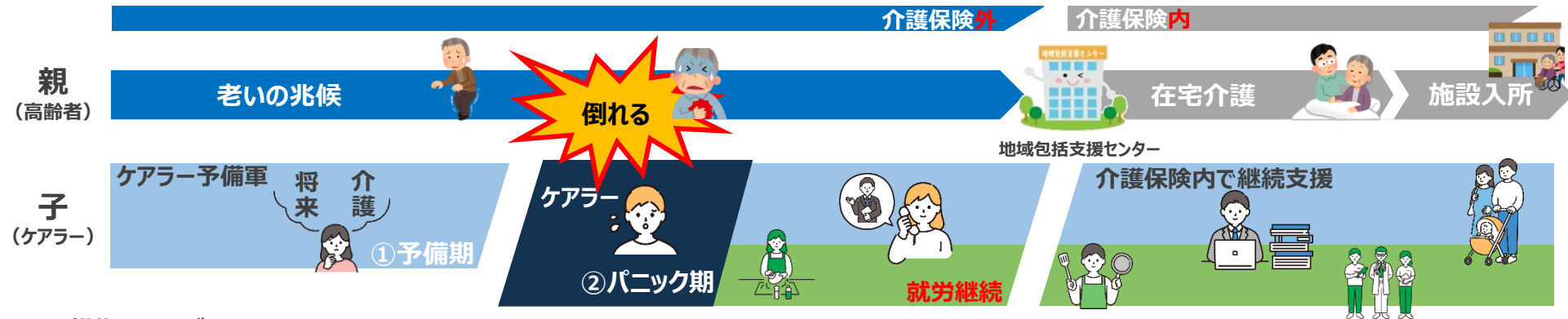
2. 山梨版・ケアラーコンシェルジュサービスについて

《予備期 サービス項目》

No.	サービス名	サービス概要
1	ほんとの始まり (企業相談・社内施策検討支援)	企業の担当者と初回面談を行い、どのような事に困っているか、今後どのような姿を目指したいかなどを聞き取る。その後、必要なサービスを検討し提案する。
2	社内実態調査	介護に起因する問題を抱えている社員がどの程度いるのか、将来的な介護離職の可能性や介護への不安やニーズなどを、アンケートを実施して社内の実態を把握し、社内関係者に説明する。
3	セミナー	契約した企業の経営層、従業員向けに「なぜ企業は仕事と介護の両立支援を行う必要があるのか」「介護の基礎知識」などの内容で、講義形式のセミナーを行う。
4	e-learning	1話10分程度の短編動画であり、空き時間にいつでも、どこからでも視聴できる環境を提供する。視聴するだけでなく、視聴進捗管理機能やAIチャットボット機能、キーワード検索機能などの機能がある。
5	けあとの遭遇	疑似体験ワークショップ。職場の同僚でチームを組んで、仕事と介護の両立についてゲーム形式で、疑似体験するワークショップ。
6	仕事と介護の両立相談窓口	仕事と介護の両立に関する、社員からの相談に個別に対応する。企業の人事部へ相談内容の傾向や特徴、会社として対応すべき課題などを報告する。

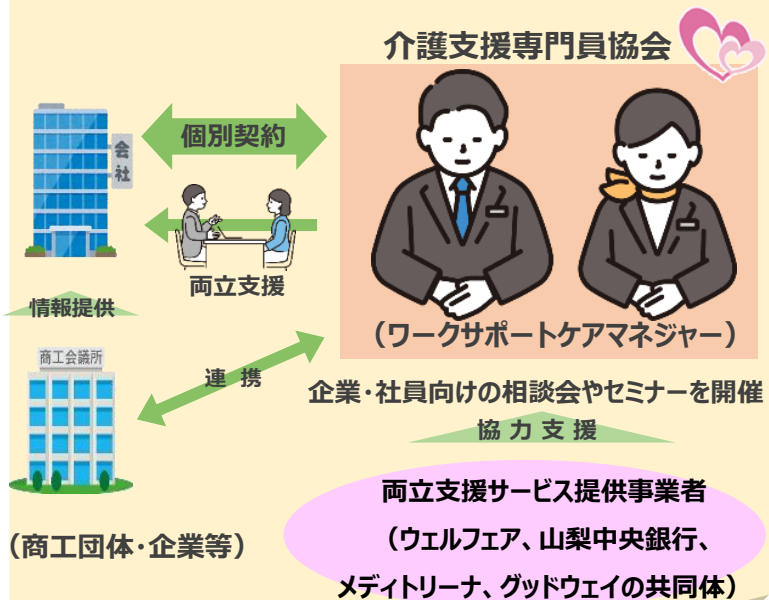
山梨県ケアラーコンシェルジュサービス（令和8年9月1日から運用開始）

介護保険制度に繋がる前段階から、介護保険・ケアプラン作成の専門家であるワークサポートケアマネジャーが秘書役・司令塔としてケアラーに寄り添い、それぞれの情報を整理し、必要なサービスを手配する“伴走支援体制”を構築



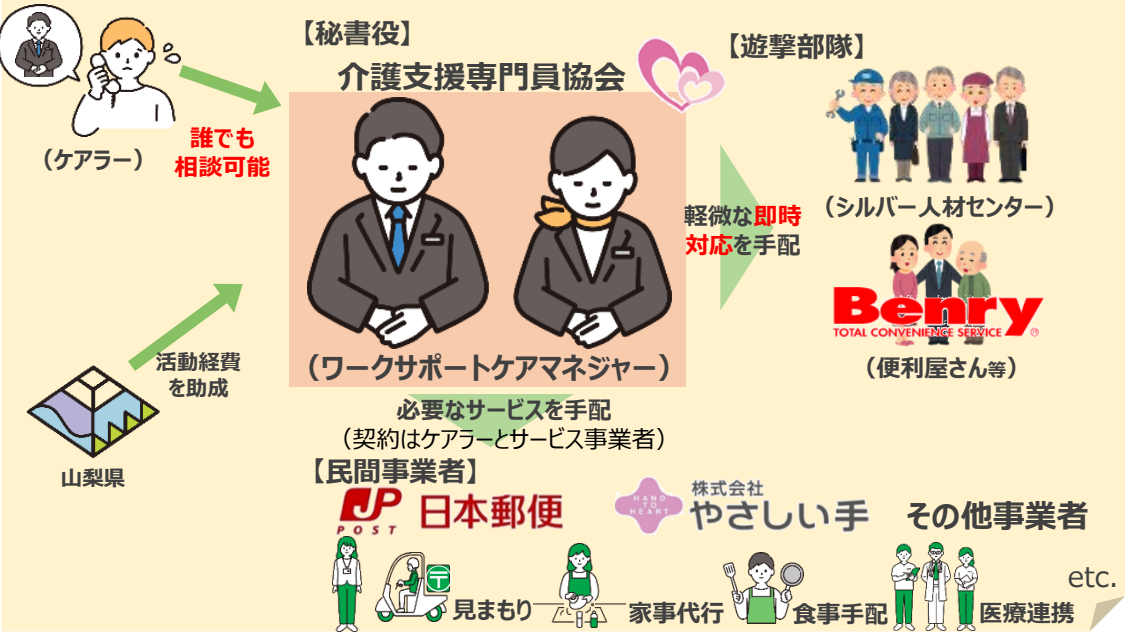
① 予備期フェーズ

ビジネスベースで社員向け相談会、サポートプランニング等を提供



② パニック期フェーズ

24時間365日就労の有無等に関わらず、**県民誰もがワークサポートケアマネジャーに相談できる体制を構築**。ケアラーに寄り添いながら情報を整理し、必要なサービスを手配



山梨県ケアラーコンシェルジュサービス（令和8年9月1日から運用開始）

介護保険制度に繋がる前段階から、介護保険・ケアプラン作成の専門家であるワークサポートケアマネジャーが秘書役・司令塔としてケアラーに寄り添い、必要なサービスを手配する体制を構築する。

② パニック期フェーズ

24時間365日就労の有無等に関わらず、県民誰もがワークサポートケアマネジャーに相談できる体制を構築。ケアラーに寄り添いながら情報を整理し、必要なサービスを手配



メディトリーナ、グッドウェイの共同体)

etc. 見まもり 家事代行 食事手配 医療連携

2. ワークサポートケアマネジャー（WSCM）とは

ワークサポートケアマネジャーは、
働く人々の仕事と介護の両立を支援するプロフェッショナル
を育成する目的で創設した一般社団法人日本介護支援専門
員協会独自の認定資格

家族等の介護を抱えている社員等が、仕事と介護を両立で
きる社会を目指し、社員等が介護をしながら意欲的に働ける
ようサポートする専門職

※（一社）日本介護支援専門員協会HPより

ワークサポートケアマネジャーの役割

1. 企業等に勤務する社員等の介護問題に関する情報提供と相談支援
2. 契約企業等が抱える介護離職問題への側面的支援
3. 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等の介護関係の社会資源への紹介およびその仲介
4. 社会保険労務士や産業医及びかかりつけ医と連携した社員等への介護離職予防への対応
5. 介護保険制度に関するセミナー開催支援等の、企業による介護離職予防のための支援

※（一社）日本介護支援専門員協会HPより

ワークサポートケアマネジャーの受講対象者

- ア．一般社団法人日本介護支援専門員協会正会員
- イ．現在勤務の有無にかかわらず、介護支援専門員で、以下の(a)～(c)のいずれかを満たすもの
 - (a)主任介護支援専門員
 - (b)実務者で実務経験5年以上
 - (c)生涯学習体系指導者レベル1または2修了者
- ウ．介護保険事業所に勤務する者については、勤務先の管理者の承諾を得た者

現在、ワークサポートケアマネジャーの数

全国 4 1 5 名（令和8年2月時点）

山梨県 1 6 名（令和8年8月時点）

3. 介護現場の現状について



一般社団法人

山梨県介護支援専門員協会

仕事と介護を両立するには、企業の風土作りが重要

親の介護は家族がするものだという風土がある

介護を専門家に任せられない

そのため、実際には仕事を休めない

介護の話し（相談）を職場で出来ない

まずはお電話を

突然の介護、

こんなお悩みありませんか？



介護が始まったけど何をどうしたらいいのかわからない



介護に時間が取られて、家事まで手がまわらない



病院や買い物など、一人では大変に感じることが増えた



急ぎの仕事の予定が入り、誰にも頼ることができずに困った



1つでも当てはまったら、まずはお電話ください。
介護の専門職（ワークサポートケアマネジャー）が、
ケアラーコンシェルジュとしてご家族の状況に沿った支援を
ご提案し、丁寧にサポートします。

山梨県ケアラーコンシェルジュサービス

☎ 055-213-1102

24時間365日対応
相談無料

私たちが、
支援につながります

ケアするあなたに寄り添います



日常生活の急な”困った！”を解決するための
支援サービスや支援機関をご案内します

家事支援

手が回らない自宅
の掃除や洗濯、食
事の準備などの家
事代行サービス

見守り
安否確認

離れて暮らす家族
や一時的な子ども
の見守り、安否確
認のサービス

買い物支援
通院支援

買い物や病院の付
き添い・送迎サー
ビス、食品の宅配
サービス

日常生活
支援

定期的に食事を届
ける配食サービス
や日常の困りごと
のサポート



ケアラーコンシェルジュ
（ワークサポートケアマネジャー）

あんしん
ポイント

介護の
専門職が
対応

24時間
365日
電話対応

相談無料
・
秘密厳守

お客様

まずは
お電話

コンシェルジュ

状況確認
支援確認

コンシェルジュ

必要な支援
ご提案

お客様

サービス
契約・利用

本サービスは、家族をケアする方の負担を軽減するための支援につなぐためのサービスであり、サービス利用には別途契約
や料金が発生します。なお、コンシェルジュが直接支援することや契約を代行することはできません。

一人で悩まず、
\ お問合わせはお気軽に /

☎ 055-213-1102

◇ 本サービスの運営 ◇
一般社団法人
山梨県介護支援専門員協会

仕事と介護の両立支援サービス サービスのご紹介 (全体概要)

なぜ、仕事と介護の両立支援が必要なのでしょう？

従業員の「見えない介護リスク」が
企業経営を揺るがす時代へ

仕事と介護の両立ができない...

介護の悩みを相談できない...



仕事と介護の両立は、今や個人の問題ではなく、経営の課題です。

私たちが企業と従業員の課題を解決します。



包括的解決策

本サービスは、介護・金融・ITの専門家がそれぞれの専門性を生かして連携する体制のもと、「現状把握」「制度設計」「従業員の個別支援」「社内教育」まで、ワンストップで「仕事と介護の両立支援」をデザインし、貴重な人材の流出を防ぎます。

事業の詳しい内容はこちら ▶

サービス体系

フェーズ1:把握

組織の実態を知る

①社内実態調査：見えないリスクをデータで可視化する

介護への不安やニーズをアンケートで浮き彫りにします。



②階層別セミナー：役割に応じた「両立支援」の視点をもつ

管理職向けセミナー	従業員向けセミナー
実施形態：講義形式/1.5時間・回/オンラインor対面	

③e-ラーニングコンテンツ：

いつでも学べる10個のショートストーリー



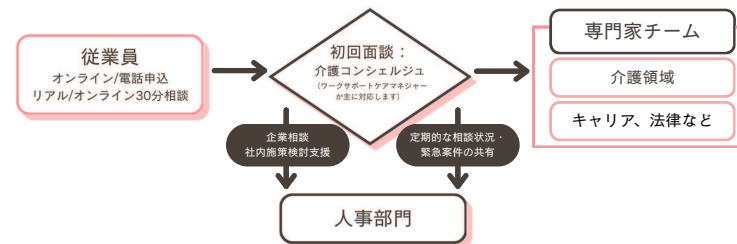
④疑似体験ワークショップ：「自分ごと」として両立を体感する

職場の同僚でチームを組み、仕事と介護の両立についてゲーム形式で疑似体験する実践型ワークショップ。

実施形態：2～2.5時間/参加人数20人程度・回

⑤個別相談窓口：

人事の負担を減らす、専門家セーフティネット



フェーズ2:啓発

知識と風土を育む

フェーズ3:支援

個別の悩みを解決する

山梨県ケアラーコンシェルジュサービス
(企業向け両立支援サービス)

一般社団法人山梨県介護支援専門員協会
未来共創研究カンパニー
(ウェルフェア株式会社、株式会社山梨中央銀行、株式会社グッドウェイ、メディトリナ株式会社)

▶お問い合わせはこちら

ウェルフェア株式会社

HP:https://wel-fare.jp/?page_id=228

【お問い合わせフォーム】

